蒸　気　員（1／2）

１　仕事の内容

自衛艦の主機関（エンジン）には、蒸気タービン機関、ガスタービン機関、ディーゼル機関の３種類があり、蒸気員については、蒸気タービン装備艦のボイラ室及び機械室で仕事をします。航海中は、艦橋からの指示によって速力を調節したり、艦内生活に必要な真水を海水から造るなどの運転監視を行い、停泊中は機械類の整備を行います。

２　仕事に就くために

教育隊終了後、機関要員として艦艇に約１年間勤務します。その後第２術科学校の海士蒸気課程で約4か月間蒸気について学び、蒸気員として艦艇勤務となります。

３　主な勤務地

横須賀、呉、佐世保、舞鶴所属の蒸気タービン艦と全国の海上自衛隊陸上施設にあるボイラ室などがあります。

４　将来取得機会のある資格等

２級ボイラ技士（２術校で海士課程入校中に概ね１００％取得）、１級ボイラ技士、ボイラ整備士、公害防止管理者危険物取扱者など

しらね型蒸気タービン艦
護衛艦「くらま」

しらね型蒸気タービン艦
操縦室での運転監視

第２術科学校蒸気実習場
高在生に対する実習装置説明

蒸　気　員（2／2）

5　その他

（1）第2術科学校だけでなく職場でも先輩が親切に仕事を教えてくれるので安心です。特に、機関科員としての仕事を覚えることで面白みが増し、さらに興味が湧いてきます。また、階級や能力に応じ、段階的に学校教育が行われ、その道のプロとしてのスペシャリストになれます。

（2）定年退職時及び任期満了退職においては、就職先として機械製造や熱供給関連会社等、多くの会社から求人があります。

6　ライフスタイル（10年間の配置換え等）

下図は、入隊から10年間の平均的な海上自衛官の経歴です。

ディーゼル員（1／2）

1　仕事の内容

　ディーゼル員は、バスやトラックのディーゼルエンジンよりさらに大型のディーゼルエンジンの運転、整備を行い船舶に、推進力及び電力を供給する仕事を行います。また、艦内生活に必要な空調、蒸気を維持、供給するため冷房機やボイラーなどの運転、整備も行います。エンジンに関する知識、経験は全く必要ありません。国内のほか、海外でもディーゼル員が乗組員として活躍中です。なお、潜水艦でも勤務できます。

2　仕事に就くために

　教育隊終了後、機関要員として艦艇に約1年間勤務します。その後第2術科学校の海士ディーゼル課程で約4か月間エンジンについて学びディーゼル員として艦艇勤務となります。

3　主な勤務地

　ディーゼルエンジンを搭載している艦艇が所属する港であれば全国どこでも勤務が可能です。
特に総監部所在地である横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊に多く の艦船が配備されています。

（実機を使用して整備実習）

（大型機関のピストン抜出し）

（操縦室で遠隔運転）

ディーゼル員（2／2）

4　取得可能な資格及び免許

免許の種類	免許取得課程等
内燃機関四級海技士（機関）	第2術科学校に免許取得課程があります。
高圧ガス製造保安責任者（乙種機械）	
二級ボイラー技士	海士ディーゼル課程中に受験できます。
危険物取扱者	

下記の写真は、全てディーゼルエンジンをメインエンジンとした艦艇です。

（護衛艦あぶくま型）

（砕氷艦しらせ）

（潜水艦）

（補給艦とわだ型）

（輸送艦おおすみ型）

（掃海母艦うらが型）

（掃海艇すがしま型）

ガスタービン員（1／2）

1　仕事の内容

　海上自衛隊の艦艇の多くは、ジャンボジェット機等に搭載されているガスタービンエンジンを船舶用に改良したものを推進用及び発電機用のエンジンとして使用しています。

　ガスタービン員は、護衛艦あるいは、補給艦などの艦艇に配置され、推進力、電気を賄うガスタービンエンジンの運転並びに整備を行います。

2　仕事に就くために

　教育隊終了後、護衛艦等において約１年間の勤務を経験し、神奈川県横須賀市にある第２術科学校において約４．５か月のガスタービンエンジンに関する専門教育を受けた後、護衛艦等の機関科ガスタービン員として艦艇勤務することとなります。

3　主な勤務地

　全国５か所の総監部（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊）等を母港とする艦艇部隊（護衛艦、補給艦等）、第２術科学校（横須賀）及び教育隊等の教育部隊などがあります。

ガスタービンエンジン

工業用内視鏡を使用した内部点検

最新鋭ヘリコプター搭載

護衛艦ひゅうが

ガスタービン員（2／2）

４　取得可能な資格及び免許

２級ボイラー技士、危険物乙４類取扱責任者、高圧ガス取扱責任者（第３種冷凍機械）等

５　先輩からの一言

世界の艦船では、スタンダードとなっているガスタービンエンジンを動かせる、とてもやりがいのある仕事です。

電　機　員（1／2）

１　仕事の内容

電機員は、主に艦艇部隊、また、一部の者については、陸上部隊（航空部隊も含む。）において勤務し、電気機器の運転、保守整備を行います。なお、潜水艦でも勤務できます。

２　仕事に就くために

教育隊終了後、機関要員として約１年間主に艦艇部隊で勤務します。　その後、第２術科学校の海士電機課程（6ヶ月）を経て、艦艇の機関科電機員として勤務します。その間、自分の努力により電気工事士・電気主任技術者等を取得し、陸上部隊の電気主任として働くことも出来ます

３　主な勤務地

全国5箇所の総監部（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊）等を母港とする艦艇部隊、海上自衛隊の各陸上部隊などがあります。

調子はどぅかな？
（機器の保守整備）

お腹空いてないかな？
（バッテリー充電）

元気かな？
（機器の運転）

電　機　員（2／2）

4　取得可能な資格及び免許

第2種電気工事士、第3種電気主任技術者、エネルギー管理士、デジタル伝送工事担任者、危険物乙種4類、第3種冷凍機、消防設備士乙種4類、2級ボイラー技師

5　先輩からの一言

現代社会に電気は必要不可欠。
自衛隊も然り！退職後も使える知識を取得してみませんか？
電気が有れば何でも出来る！

応急工作員（1／2）

1　仕事の内容

応急工作員は、護衛艦、掃海艇等に乗り組み、火災や浸水から艦を守る仕事をしています。また、船体や機械部品等が損傷した際に溶接や旋盤の技術を活用し、部品を作成したり、修理を行います

2　仕事に就くために

教育隊終了後、機関要員として約1、2年間程度護衛艦等で勤務した後、第2術科学校の海士応急工作課程（5ヶ月）を経て、護衛艦の機関科応急工作員として艦艇勤務となります。

3　主な勤務地

全国5カ所の総監部（横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊）等を母港とする艦艇部隊（護衛艦、掃海艇等）をはじめ、第2術科学校等の教育部隊など、全国の部隊等で勤務できます。2術校の課程を修業した隊員の多くは艦艇部隊で大いに活躍しています。

（機械工作作業）

（防火作業）

（防水作業）

応急工作員（2／2）

4　取得可能な資格及び免許

　ガス溶接技能講習修了証、ガス溶接作業主任者、その他本人の努力次第により危険物取り扱い主任者、乙種6類消防設備士等公的資格を取得することができます。

5　ライフスタイル（10年間の配置換え等）

　応急工作員の特技を取得するに当たって、年齢、性別、経歴、経験等の制限はありません。通常、教育隊終了後、艦艇勤務の機関要員として、1、2年の勤務を経て術科学校に入校し、修業後に部隊勤務を3年程度経験した後、初任海曹課程（教育隊）に入校、その後さらに数年の部隊経験を積み、それぞれの部隊において中核として活躍しています。

6　先輩からの一言

　入隊当時の第2術科学校見学で、木工や溶接に興味を持って応急工作を希望しました。

　海士応急工作課程では、熱意溢れる教官方から基礎的な知識を学び、切磋琢磨 しながら同期達と充実した日々を過ごすことができました。

　艦の命を左右する防火・防水訓練に励んだことも忘れられない思い出です。

　現在は横須賀教育隊で防火実習の教官として誇りを持って仕事に取り組んでいます。

　とても やりがいがある職種なので皆さんも是非希望してください。

応急工作員の一日の流れ（例）

1　停泊中
　0700頃　帰艦（出勤）
　0800（1200）仕事
　1200（1300）昼食、休憩
　1300（1645）仕事
　1730頃　上陸（退勤）

2　出港中
　0600　起床
　0615（0700）朝食
　0800（1200）訓練等
　1200（1300）昼食、休憩
　1300（1700）訓練等
3時間程度で操縦室等で勤務

航空管制員（1／2）

1　仕事の内容

航空管制の仕事は、日本の空を飛ぶ航空機を安全に運航させる仕事です。航空機に乗るパイロットと無線で交信をして離陸から着陸まで様々な指示やアドバイスをします。

この仕事は自衛隊と国土交通省でのみ実施しています。（右図参照）

2　仕事に就くために

教育隊終了後、航空自衛隊の術科（専門の）学校で航空管制の基礎を学びます。その後各飛行場へ配属され、シミュレーターや実際の現場で訓練をして国家資格を取得していきます。これは成田など民間で働く航空管制官と同じ資格です。

3　主な勤務地

海上自衛隊の飛行場のある基地のほか、ヘリコプターを搭載する護衛艦に乗艦し、日本周辺海域や海外に行くことも。中には砕氷艦しらせで南極に行く隊員もいます。（下図参照）

航空機を実際に見ながら管制

管制用レーダーで航空機を誘導

航空管制員（2／2）

4　取得可能な資格（免許）

航空交通管制技能証明（飛行場管制、着陸誘導管制、ターミナル・レーダー管制、進入管制）、航空無線通信士、航空英語能力証明

5　ライフスタイル（10年間の配置換え等）

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊（練習員課程） 航空基地（部隊実習）	航空自衛隊第５術科学校（小牧）（航空管制員課程）	航　空　基　地 飛行場管制及び着陸誘導管制業務（国家資格取得）			飛行支援管制所 ・ヘリ搭載護衛艦乗組 ・洋上管制所等 航　空　基　地 ターミナル・レーダー（進入）管制業務（国家資格取得）		航　空　基　地 ターミナル・レーダー（進入）管制業務（国家資格取得）	飛行支援管制所 ・ヘリ搭載護衛艦乗組 ・洋上管制所等	

シミュレーターでの訓練

360度の展望塔が仕事場

護衛艦の中から

女性も乗れるようになった

最初はみんな初心者！
しっかり訓練するので、
どんな状況にも冷静に対
応できるようになります。

チームで安全を見守る

砕氷艦で南極へ

施　設　員（1／2）

1　仕事の内容

海上自衛隊のそれぞれの基地で、建物や構築物を修繕したり、そのための設計図、積算資料の作成を行ったり、土木系の建設機材を使用し、飛行場及び道路等を補修します。

また、土木建築系のみならず、電気、ボイラ、水道、木工などの専門分野への道も希望できます。

2　仕事に就くために

教育隊終了後、航空基地要員として約1年間航空部隊等で勤務。その後、第3術科学校の海士施設課程（約6カ月）を経て、航空基地、艦艇基地の施設員として勤務します。

3　主な勤務地

全国13カ所（大湊、八戸、下総、館山、厚木、舞鶴、徳島、小松島、岩国、小月、大村、鹿屋、那覇）の航空基地隊及び全国5カ所の地方隊（大湊、横須賀、舞鶴、呉、佐世保）の総監部、基地業務隊等、第3術科学校等の教育部隊などがあります。

（測量実施中）

（土木工事施工中）

施　設　員（2／2）

4　取得可能な資格及び免許

大型自動車免許、大型特殊自動車免許、建築士、測量士、ボイラ技士等

5　ライフスタイル（10年間の配置換え等）

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊（練習員課程等） 航空基地隊（航空基地要員）	第3術科学校（海士施設課程）	航空基地隊管理隊 総監部施設課 基地業務隊施設科		教育隊（初任海曹課程）	航空基地隊管理隊 総監部施設課 基地業務隊施設科		第3術科学校（海曹施設課程）	航空基地隊管理隊 総監部施設課 基地業務隊施設科	

6　先輩からの一言

建設関連が主ですが、ライフラインの仕事もありやりがいのある職種です。健康であれば誰でもできますので、ドンドン希望してね！

地上救難員（1／2）

1　仕事の内容

航空機の事故に際し化学消防車を操縦し、人命を救助するとともに、火災に対する消火活動を行うのが地上救難員の主な任務です。また、航空基地の警備や、車両による人員等の輸送も行います。

2　仕事に就くために

教育隊修了後、航空基地要員として約1年間航空基地隊等で勤務。その後、第3術科学校の海士地上救難課程(約6ヶ月)を経て、中型自動車運転免許取得後、全国の航空基地隊又はヘリコプター搭載護衛艦等で地上救難員若しくは艦上救難員として勤務します。

3　主な勤務地

全国にある海上自衛隊航空基地の地上救難班、警衛班、車両班、燃料班の他、ヘリコプター搭載護衛艦、砕氷艦（しらせ）等、たくさんの勤務地と色々な配置があります。

（自動車教習風景)

(救難消火訓練)

地上救難員（2／2）

4　将来取得機会のある免許、資格

中型自動車運転免許（海士地上救難課程入校中に取得）、けん引免許、大特免許、危険物乙4、消防設備士（乙6）、自動車整備士（3級）、丙種陸海空無線通信士、ガス溶接技能者等

5　ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊（練習員課程等）	航空基地隊（航空基地要員）	第3術科学校（海士地上救難課程）	航空基地隊（地上救難員・警備員・車両員） ヘリ搭載護衛艦、しらせ等（艦上救難員）		教育隊（初任海曹課程）	航空基地隊（地上救難班直長・警衛伍長・車両員） ヘリ搭載護衛艦、しらせ等（艦上救難員長等）			第3術科学校（海曹地上救難課程）

6　先輩からの一言

車の免許や消防設備士等、多くの国家資格が取得できるよ。人命救助に興味のある人、車の好きな人、この指止まれ。